

# まちのできごと

## 神秘的に輝く大根やぐら



大根やぐらの中で豚汁に舌つづみを打つ来場客



冬空のなかで温かい光を放つ大根やぐら

12月18、19日の両日、宿利原地区の大根やぐらが青や赤などの光に照らされ、神秘的に輝きました。

これは宿利原地区公民館が主催した、「クリスマス大作戦」で、冬の風物詩である大根やぐらを使用して地域を盛り上げようと企画されたものです。

当日は、実行委員の方々を中心に準備を行い、午後6時の「点灯！」という宿利原勝吉実行委員長の号令とともに一斉にライトアップされました。初日はあいにくの雨模様でしたが、来場客は「見慣れた大根やぐらも夜にライトアップされると全然違うね」「幻想的できれいだね」等、口々に感嘆の声を上げていました。

また、お楽しみ抽選会や豚汁の無料配布も行われ、来場客は寒風で冷えた体に温かい豚汁が体に染み入るようでとてもおいしいと評判でした。

宿利原実行委員長は「皆さんの協力があって初回としては大成功だったと思います。来年以降も続けていけるように、益々地域が盛り上がるように頑張っていきたいと思います。」と話されました。

今回は述べ800人の来場がありました。来年以降は益々増え、もっともっと盛り上がることを期待します。

## 火事も逃げ出す元気な声



神川中子ども会の夜警の様子

中、子ども達の「火の用心」の元気な声と最近ではなかなか耳にすることのなくなった拍子木の音が街中に響き渡り、地域の方々も、火の用心を再確認する気持ちと、元気をもらったことでしょう。

これからまだまだ、ストーブなど暖房設備で火を使う機会も多いと思いますので、くれぐれも火の元には注意してください。

12月26日、神川中子ども会（神川中自治会）と馬場っ子クラブ（馬場地区公民館子ども育成部）はそれぞれ年末の夜警を行いました。

子どもたちは、寒さの厳しい中「戸締り用心！火の用心！」を元気な声で訴えました。

馬場っ子クラブは毎年の恒例行事となっており、また、神川中子ども会は数十年ぶりに復活した昨年が続いての夜警となりました。

寒さの厳しい



馬場っ子クラブの夜警の様子